

4 委託事業者によるフォロー訪問

- ・ 訪問希望をされた方（279人）のうち、フレイル度チェック結果がプレフレイル・フレイルだった187人を対象に、市内の介護事業所職員がフォロー訪問を実施。
- ・ 面談時には、生活や身体状況について聞き取りを行い、必要に応じた予防実践等のアドバイスを行った。

(1) 実施結果

訪問希望者のチェック結果	人数	} 187人	面談実施件数	※対象者187人にアプローチし、そのうち面談等できた件数が135件
健康	92		135件	
プレフレイル	81			
フレイル	106			
合計	279			

- ・ 面談ができなかった理由としては、複数回不在（連絡が取れない）、拒否、すでに介護認定を受けた、などがある。

(2) 年代別実施状況

年代	実施件数	年代	実施件数
65～69歳	4	85～89歳	34
70～74歳	1	90～94歳	17
75～79歳	35	95歳以上	3
80～84歳	41	合計	135

5 保健師によるフォロー訪問

- ・ 1回目（6月～9月）と2回目（10月～12月）の2回に分けて実施。
- ・ 健診結果などからハイリスク者を抽出して、保健師が訪問。（フレイル度チェック無回答者含む）

(1) 1回目の実施状況（6月～9月実施）

面談実施件数
91件

- ・ 訪問対象者：①低栄養の方・②重症化予防（慢性腎臓病リスクのある方）が必要な方・③口腔機能の低下がある方。（いずれも要介護認定のない方）

- ① 低栄養：前年度の健診結果で、BMI20以下かつ体重減少3キロ以上（80歳未満）
 - ② 重症化予防：前年度の健康診断で、eGFR45以下、尿たんぱく＋以上かつ血圧が受診勧奨判定値以上（80歳以下）
 - ③ 口腔機能低下：前年度健診の問診票にある生活習慣チェックリストのうち、「固いものが食べにくくなった」と「むせやすくなった」にチェックがあり、歯科検診の未受診者（85歳以下）
- ※ 上記①～③のいずれかに該当する方を135人抽出。

- ・対象者135人に対し訪問する旨の通知を発送しアプローチ。91件の面談を実施。
面談時に、生活や身体の状態について聞き取り、必要に応じたアドバイスや支援を行った。
(医療受診勧奨・保健指導・健診受診勧奨・包括支援センター紹介・歯科受診勧奨等)
- 対象者と面談実施件数の差には、電話でのやり取りのみ・常時不在などがある。

面談実施件数

100件

(2) 2回目の実施状況（10月～12月実施）

- ・訪問対象者：令和5年度の後期高齢者健診受診者のうち、1年間で転んだことがある・週に1回以上の運動習慣がない・歩くのが遅くなった、のいずれにもチェックがある方で令和5年～6年度のフレイル度チェック無回答者。

※ 上記の条件に該当する方を125人抽出。

- ・対象者125人に対し訪問する旨の通知を発送しアプローチ。100件の面談を実施。
面談時の対応及び対象者と面談実施数との差については1回目と同様。

(3) 訪問時のフレイル度チェック結果

(件)

	健康	プレフレイル	フレイル	合計
1回目	6	12	6	24
2回目	22	37	26	85
合計	28 (25.7%)	49 (45.0%)	32 (29.3%)	109

6 地域包括支援センターによるフォロー訪問

- ・訪問希望をしていないチェック回答者のうち、フレイル該当者を抽出し地域包括支援センター職員が訪問。

面談実施件数

239件

(1) 実施状況

- ・フレイルリスクの高い順に総計が300件となるよう対象者を抽出。
各地域包括支援センターには担当地区の大きさ等を勘案して配分。
- ・対象者を300人抽出しアプローチ。239件の面談を実施。
- ・面談時には、生活や身体の状態について聞き取りを行い、必要に応じた予防実践や介護サービスのアドバイスをを行った。
- ・面談ができなかった理由としては、複数回不在（連絡が取れない）、介護認定者となった、入院中などがある。